

徳島大学は、新蔵・常三島・蔵本の3つのキャンパスすべてが遺跡の上に位置しています。1982年以降、校舎の新設などにもなって、50件にもおよぶ発掘調査を行ってきました。なかでも新蔵キャンパスは、近世の徳島城下町において、家老・中老といった上級武家屋敷の集中する「徳島」地区に立地することが知られます。本学ではこの範囲に所在する遺跡を独自に「新蔵遺跡」と呼んでいます。今回の展示品は、ギャラリー新蔵が所在する日亜会館の建設に伴う2004年の調査で出土したものから厳選しました。合わせて、昨年度、本学が調査した徳島市三谷遺跡の調査成果についても速報します。



第13回 特別展

徳島大学の至宝

新蔵遺跡の出土品

徳島大学構内遺跡出土品展示会 [その2]

2015年6月1日 [月] - 8月31日 [月] 徳島大学ギャラリー新蔵 展示室 [日亜会館1F]



平日は9:00 - 17:00開館
土・日・祝日は閉館

問い合わせ:
徳島大学総務部総務課
広報室広報係
770-8501 徳島市新蔵町2丁目24番地
Tel.088-656-7021